**「横浜市立特別支援学校（看護師配置校）医療的ケア等指示書」への添付文書　　　枚中　　　枚目**

次の児童生徒の**人工呼吸器使用時の安全確保**について「横浜市立特別支援学校（看護師配置校）医療的ケア等指示書」に本書類および下記書類を添付して補足します。

☑添付文書（本書類） □人工呼吸器設定数値 □メーカー連絡先等

□簡易説明書等 □その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

|  |
| --- |
| 令和　　年　　月　　日 |
| 記入医師氏名　　　　　　　　　　印 |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 対象者 | 氏名 |  | 生年月日 | 年　　月　　日 |
| 住所 |  | | |
| 人工呼吸器使用の事由等 | | □気道の確保　　□換気の補助　 □ガス交換の維持・改善  □今後人工呼吸器の使用時間を減らしていく。　（見通し等　　　　　　）  □短期的に人工呼吸器からの離脱を目指している。（見通し等　　　　　　）  （→□ウィーニングあり→頻度　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  □今後人工呼吸器の使用時間を増やしていく。　（見通し等　　　　　　）  □その他特記事項等 | | |
| 使用時 | | □24時間　　　　　□　　：　　～　　：  □（その他条件） | | |
| 離脱可能時間 | | 覚醒時　　　　分程度　　・　　睡眠時　　　　分程度 | | |
| 着目すべきバイタルサインや設定値  及び  傾向や必要な対処 | | □酸素飽和度  （傾向と対処　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  □毎分心拍  （傾向と対処　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  □一回換気量（画面表記　　　　　　）  （傾向と対処　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  □分時換気量（画面表記　　　　　　）  （傾向と対処　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  **その他あれば以下に記載**  □  （傾向と対処　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  □  （傾向と対処　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  □  （傾向と対処　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  □  （傾向と対処　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | | |
| 頻度が高い処理等 | | ☑呼吸器回路の着脱、およびその際の警報音の処理  ☑呼吸器回路の途中への人工鼻の着脱、およびその際の警報音の処理  ☑呼吸器回路の結露水の処理（ウォータートラップの着脱含）、およびその際の警報音の処理  ☑人工呼吸器の電源切り替え、バッテリーの交換、およびその際の警報音の処理  □バギングによる換気（必要時　　　　　　　　　　　最長　　　分まで）  □その他特に必要な対応等  ※必要ない場合はチェックを外してください。 | | |
| その他必要な留意点等 | |  | | |

**「横浜市立特別支援学校（看護師配置校）医療的ケア等指示書」への添付文書　　３　枚中　１枚目**

次の児童生徒の**人工呼吸器使用時の安全確保**について「横浜市立特別支援学校（看護師配置校）医療的ケア等指示書」に本書類および下記書類を添付して補足します。

☑添付文書（本書類） ☑人工呼吸器設定数値 □メーカー連絡先等

☑簡易説明書等 □その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

|  |
| --- |
| 令和　４年　２月　25日 |
| 記入医師氏名　横浜太郎　印 |

記入例、注意点

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 対象者 | 氏名 | 関内　　　花子 | 生年月日 | 平成21年６月２日 |
| 住所 | 神奈川県　横浜市　中区　関内1丁目1番地 | | |
| 人工呼吸器使用の事由等 | | ☑気道の確保　　☑換気の補助　 ☑ガス交換の維持・改善  □今後人工呼吸器の使用時間を減らしていく。　（見通し等　　　　　　）  □短期的に人工呼吸器からの離脱を目指している。（見通し等　　　　　　）  （→□ウィーニングあり→頻度　　　　　　　　　　　　　　　　　）  ☑今後人工呼吸器の使用時間を増やしていく。  （見通し等　高等部ごろまでかかり徐々に）  □その他特記事項等  筋ジスの進行により、昨年度より人工呼吸器使用開始した。QOLの維持向上のため、呼吸状況を見ながら、必要時は使用時間を増やしていく。 | | |
| 使用時 | | □24時間　　　　　☑７：00～21：00（就寝中）  □（その他条件） | | |
| 離脱可能時間 | | 覚醒時　１２０　分程度　　・　　睡眠時　６０　分程度 | | |
| 着目すべきバイタルサインや設定値  及び  傾向や必要な対処 | | ☑酸素飽和度  （頻回に96％を切る場合には、腹部の張りがある場合は、呑気と息止めが考えられるため、姿勢の変換等で、呼吸の再開を試みる。喘鳴があるようなら、吸引をする。それでも15分以上96％を切るようなら、医師に状況を報告し指示を受けてほしい。）  ☑毎分心拍  （通常90～110程度　120を15分以上超えるようなら医師に状況を報告し指示を受けてほしい。）  ☑一回換気量（画面表記　　Vt　　）  （通常140ml程度　120mlを頻回に切るようなら、痰の貯留を確認し、吸引の後、回復しなければ医師に状況を報告し指示を受けてほしい。）  □分時換気量（画面表記　　　　　　）  （傾向と対処　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  **その他あれば以下に記載**  □  （傾向と対処　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  □  （傾向と対処　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  □  （傾向と対処　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  □  （傾向と対処　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | | |
| 頻度が高い処理等 | | ☑呼吸器回路の着脱、およびその際の警報音の処理  ☑呼吸器回路の途中への人工鼻の着脱、およびその際の警報音の処理  ☑呼吸器回路の結露水の処理（ウォータートラップの着脱含）、およびその際の警報音の処理  ☑人工呼吸器の電源切り替え、バッテリーの交換、およびその際の警報音の処理  ☑バギングによる換気（必要時　　水泳学習　　最長　10　分まで）  □その他特に必要な対応等  ※必要ない場合はチェックを外してください。 | | |
| その他必要な留意点等 | |  | | |